

C l u s t e r

Ver.2.22M

2016年08月31日



HelperTex Office

<http://www.geocities.jp/helpertex2>

概要

Cluster ソフトウェアは、1 纏めのデータに対し相関係数を計算し、グループ化し、デンドログラム表示を行う。コンビケム、試料高温測定などに応用出来ます。

ClusterP2V2 ソフトウェアは、過去の測定した結果をデータベース化し、そのデータベースに対して相関係数を求め、上位数点（数は指定出来る）を相関係数順に並び替え、デンドログラム表示を行う。解析結果に関しては、

Cluster は JPEG

ClusterP2V2 は、JPEG や Office などの word によって印刷

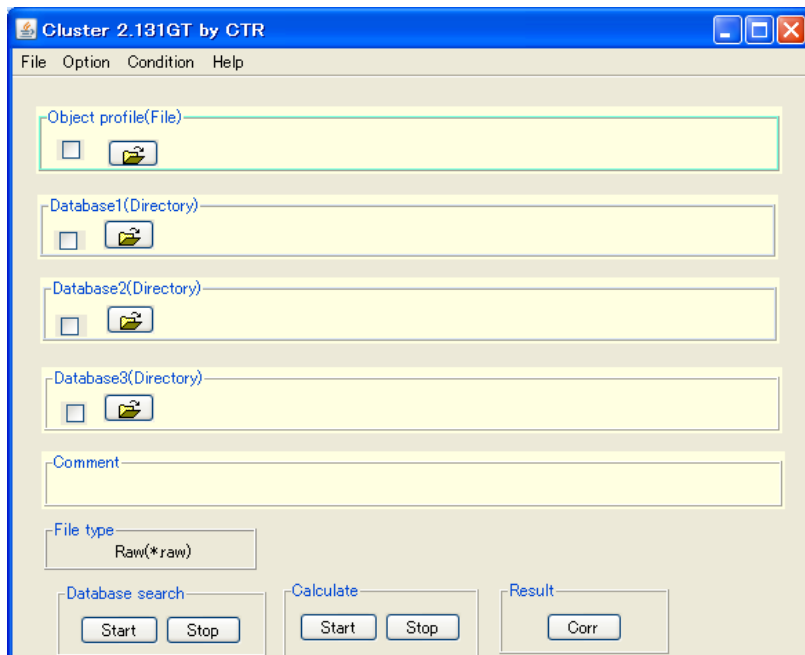
インストール

Java ソフトが動作できる環境が必要です。

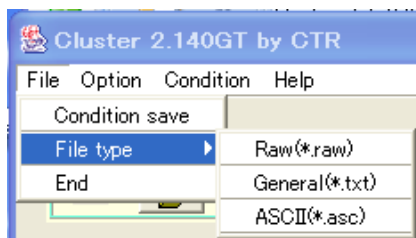
Windows 上であればどの OS でも動作します。(2000,XP,VISTA,7)

Cluster ソフトウェアをテストデータで

C:\CTR\bin\cluster.jar を起動

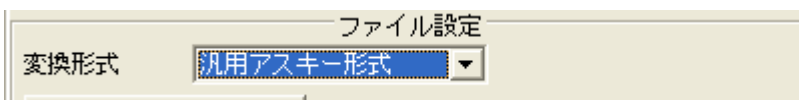


処理出来るデータタイプ

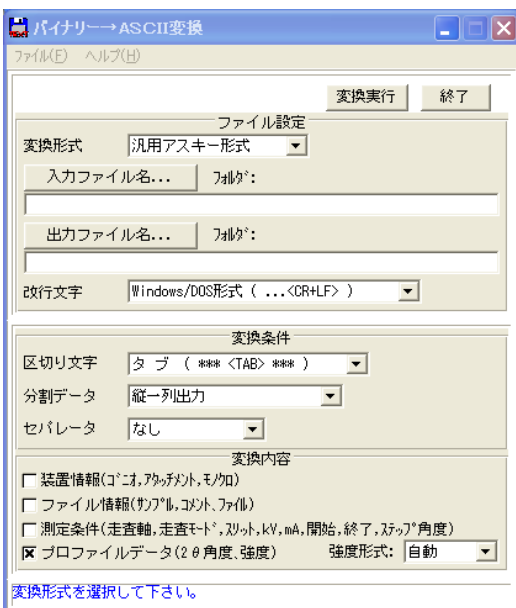


RINT2000 の raw データ、ASC データ、TXT データの 3 種類
テストデータは c:\CTR\DATA\3atoms に raw データがあります。
ASC,TXT へは、バオナリー→ASC 変換で作成出来ます。

ASC へは、



TXT へは、




で変換出来ます。

検索条件

Correlation condition

Smoothing Points 11

Backprofile  null

Amorphous Points 50 Cycle 50

Extent Start 10.0 Stop 50.0

Resolution 100

Shift 0

Profile Ok Cancel

Smoothing Points 11 は、プロファイルの平滑化条件

Backprofile  null は非晶質の指定（通常は指定しない）

Amorphous Points 30 Cycle 30 は、削除するバックグラウンドの計算

Amorphous Points 50 Cycle 50 は、指定した範囲の検索を行う。

Resolution 100 は、相関係数の分解能指定

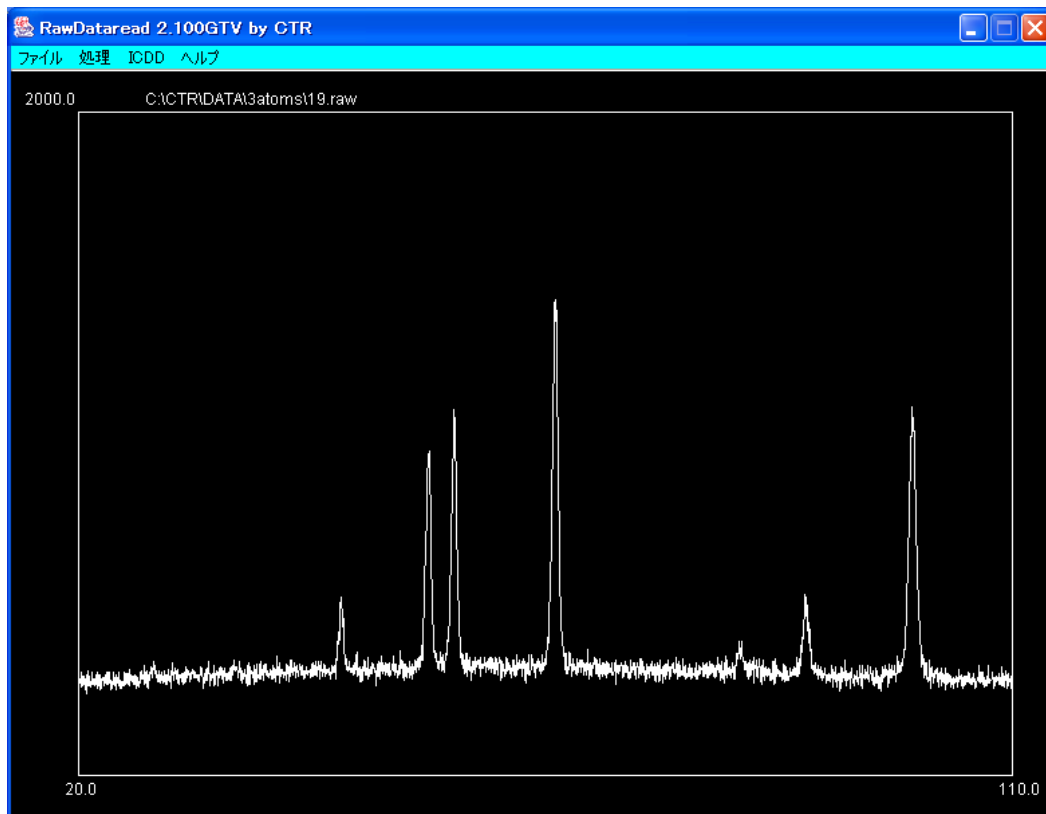
Shift 0 は、試料高温データなどの場合指定

Profile スムージングや、バックグラウンド計算パラメータの確認を行う

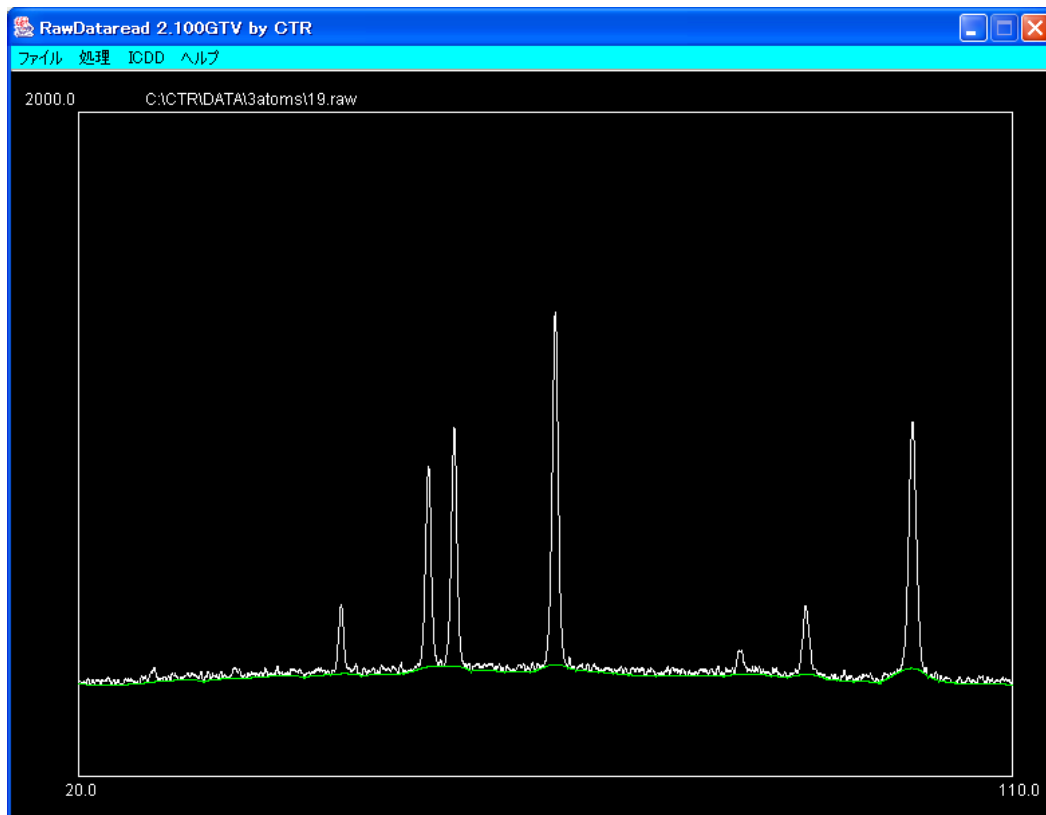
Profile

でパラメータ確認（通常、確認なしで良い）

C:\CTR\DATA\3atoms\19.raw を処理（RINT2000/PC で 19.raw を選択）



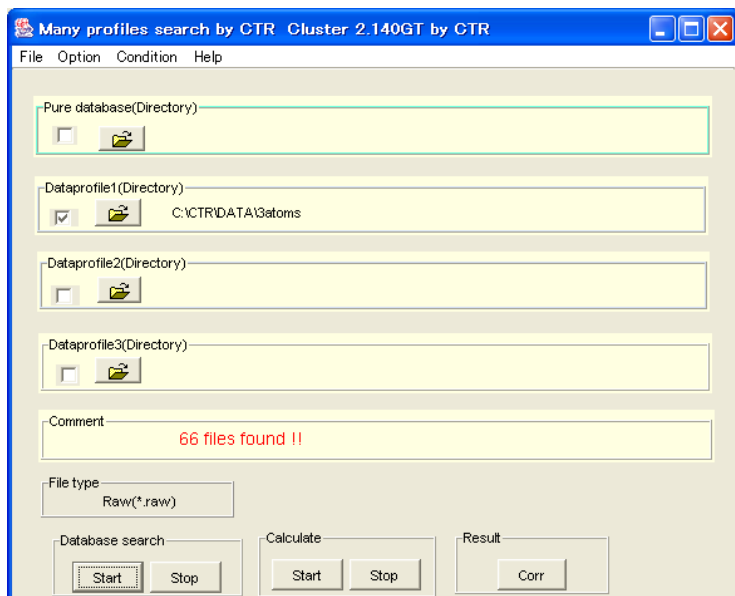
平滑化 1 1 点、バックグラウンドで、スムージング点数 5 0、繰り返し回数 5 0 を指定



バックグラウンドを削除する。指定したパラメータでどのようなバックグラウンドが差し引きされているか分かります。

C:\¥CTR¥DATA¥3atoms ディレクトリの全てのデータ間の相関を求めてデンドログラム表示を行う。

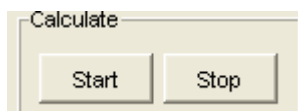
メニュー Option-Allモード、ファイル選択し、DataBase search



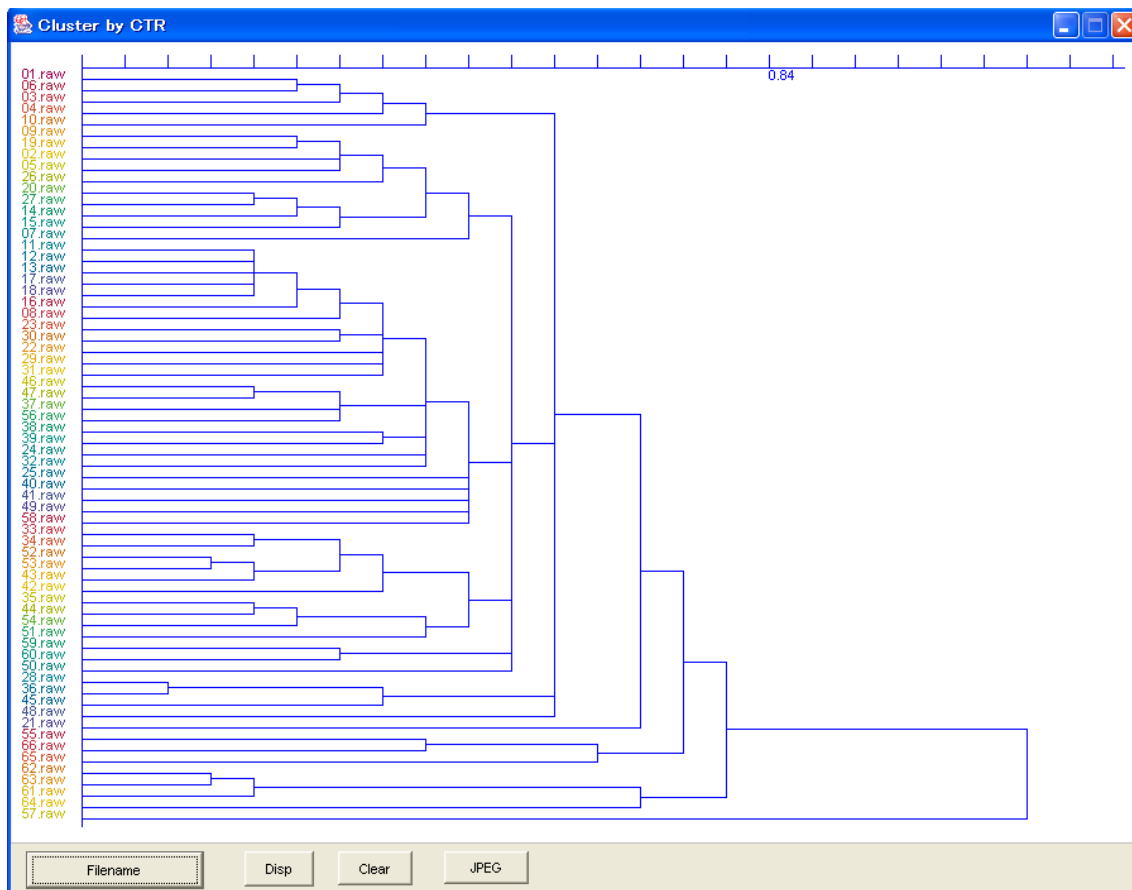
Raw データが 66 個登録されている事が分かります。


指定されたディレクトリ以下に、分割データが存在すると検索出来ません。

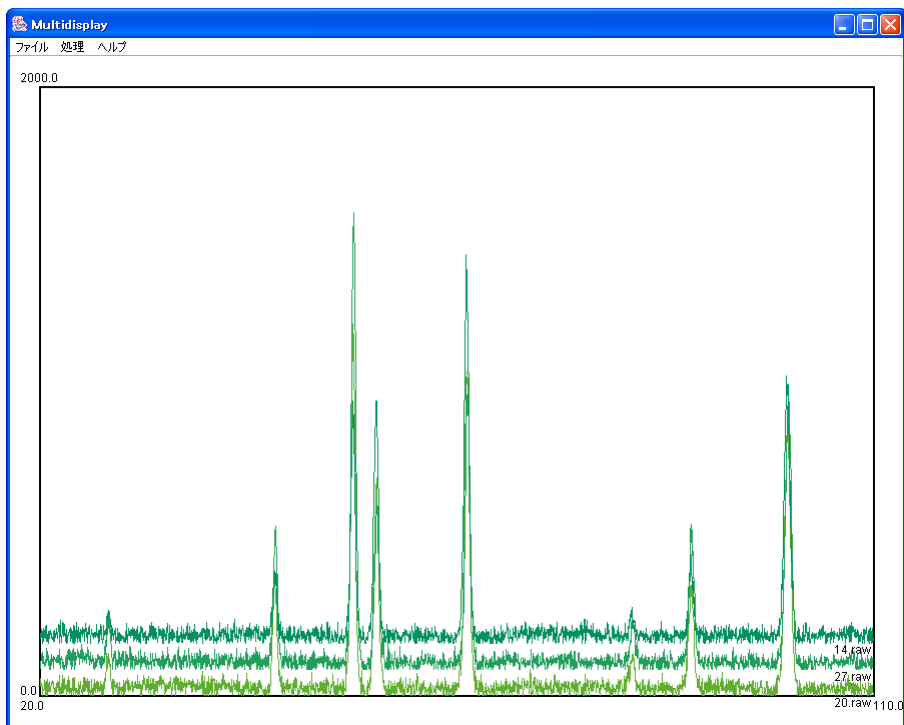
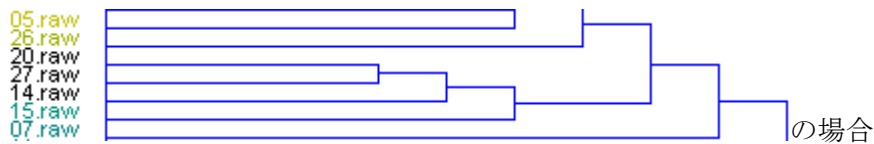
ファイルに一覧表からファイル名を削除してファイル登録すれば、削除されたファイルは検索から除かれる。



で検索が開始される。



検索結果からファイル間のプロファイル比較をするには、ファイル名を選択して  する。



20, 27, 14raw ファイルの比較ができる。

プロファイル枠の左上、左下、右上、右下をマウスクリックすると表示プロファイルが変わります。